

自然エネルギー信州ネット 平成27年度 定時総会 次第

日時：平成27年（2015年）6月27日（土）
13：00～13：45

会場：生涯学習センタートイゴ4階 大学習室1

1. 総会開会の辞

2. 会長あいさつ

3. 議長選出

4. 議事

第1号議案	平成26年度	事業報告	資料1-1	1-2
第2号議案	平成26年度	収支決算報告ならびに監査報告	資料2-1	2-2 2-3
第3号議案	平成27年度	事業計画（案）	資料3	
第4号議案	平成27年度	収支予算計画（案）	資料4	

5. 議長解任

6. その他

- ・役員改選ならびに信州ネットの組織再編成への取組について
- ・会員、地域協議会へのアンケート集計結果について

7. 閉会

【パワーアップミーティング】 14：00～17：00 同会場

【懇親会】 18：00～20：00

ビッフェ居酒屋パール（長野市上千歳町1177-3 スマイルホテル1F）

会費：男性3200円 女性2800円

第 1 号議案

自然エネルギー信州ネット 平成 26 年度事業報告

長野県内において、地域資源を活用した地域協働による自然エネルギーの普及及び自然エネルギーを活用した持続可能な地域づくりに向けて、下記の活動を進めた。

平成 26 年度は、長野県、岡谷酸素（株）、信州ネットの 3 者協定による「おひさまBUSUN SUNメガソーラープロジェクト」に基づき、平成 26 年 10 月 1 日に株式会社岡谷酸素 SUWACO Labo からの「岡谷酸素太陽光発電所 SUWACO Labo 還元金活用事業」を受託し、県内における自然エネルギー普及事業に取組んだ（当事業の契約期間は平成 45 年 3 月 31 日までである）。

また、「全国小水力発電サミット実行委員会」「まちエネ大学実行委員会」からの要請により、各会の運営支援に取組んで、ネットワークの幅を広げた。

尚、平成 26 年度からは信州ネットの事業部門を担う一般社団法人自然エネルギー信州パートナーズに事務局機能を委託した。

記

1. 県内の自然エネルギーに関連する団体・企業・個人との対話促進と普及啓発活動

(1) 地域協議会の設立支援

平成 26 年度は、新たな地域協議会設立の動きはなかった。

(2) 地域協議会の運営支援

地域協議会からの希望に基づいて、後援やメーリングリストによる情報発信、情報共有等を行い、各地域での自主的な運営を支援した。

(3) 専門部会の活動

◆グリーン熱部会：部会員と信州ネット会員が主体となって 4 月に「信濃町地中熱利用講演会・見学会」を開催した。（主催：しなの町自然エネルギーを考える会 共催：長野県地中熱利用促進協議会）

◆太陽光部会：5 月に佐久市のメガソーラー見学会を実施し、転リース方式による資金調達方法やメガソーラー管理運営の留意点等について情報を得た。

◆小水力部会：11 月に開催された「第 5 回全国小水力発電サミット in 長野」において、小水力部会メンバー有志がボランティアスタッフとして運営を支援した。

◆政策調査部会：2012 年 2 月に実施した「自然エネルギー普及を阻害させる規制やしくみの調査」の第 2 弾を実施するためのアンケート内容を検討中。2015 年度前半に実施予定。

◆バイオマス部会：10 月に佐久イオンモールにて開催されたストーブ展に出展した。

◆ファイナンス部会、マネジメント部会の活動はなかった。

(4) 地域「連絡会」の開催

各地域での活動状況の把握および情報共有を図りながら、地域協議会への支援を進め、連携を密にするための情報交換会を県内2カ所で開催した。

5/21 佐久地域、7/31 諏訪地域、10/4 木曾地域（御嶽山噴火のため中止）

(5) 行政会員の加入促進

長野県環境エネルギー課と協力して、77市町村に対し信州ネットへの参加を呼びかけたところ、平成26年3月末において21の行政会員の加入があった。

(6) メール等による会員（団体・企業・個人）への情報発信

毎月のメールニュース発信をはじめ、自然エネルギーに関連する情報についてメールを活用した情報発信を実施した。

2. 会員、地域協議会、行政の協働による県民への普及啓発活動

(1) 情報発信ツールの活用と運営

平成26年度は情報発信の頻度を高める環境にするため、ホームページの改訂を行った。コンテンツのひとつとして、「第5回全国小水力発電サミット in 長野」の専用ページを開設し、資料・動画等を公開している。

また、「岡谷酸素太陽光発電所SUWACO Labo」のホームページとリンクし、当事業の普及を図った。

(2) 各種イベントや講演会などの実施ならびに参加、協力

県民が広く参加できる普及啓発イベント、セミナーなどを主催（共催・協力）した。また、自然エネルギー普及につながる各種イベントや講演会に出展、参加した。

- ・「NECO公開講座」後援
- ・「信州環境フェア2014」環境エネルギー課と共同出展
- ・「全国風穴小屋サミット」後援
- ・「信州コロキウム 地域の資源・エネルギーを活かす」後援
- ・「よみがえれ 諏訪湖ふれあいまつり2014」後援
- ・「木曾町 自然エネルギーフェア」後援 ※開催中止
- ・「八ヶ岳まるごと収穫祭」での薪ボイラー・薪ストーブ展示
- ・「伊那谷木質バイオマスエネルギーシンポジウム」後援
- ・シンポジウム「里山の恵みを受け継ごう！」協力

(3) 他団体と連携した広報活動ならびに運営協力

- ・「第5回全国小水力発電サミット in 長野」への協力ならびに広報・運営協力
- ・「まちエネ大学長野スクール」への協力ならびに広報・運営協力

(4) 「1村1自然エネルギー」への登録呼びかけ

本会会員ならびに関係者に対し、長野県が取り組む「1村1自然エネルギープロジェクト」の趣旨説明と、登録の呼びかけを行った。

3. 自然エネルギー普及に向けた政策手法の検討・提言・協力

「おひさまBUN SUNメガソーラープロジェクト」において、長野県、岡谷酸素(株)、信州ネットとの三者協定に基づき、当プロジェクトで得られた知見の分析、公開等を通じて、長野県内における自然エネルギー普及に協力した。

- ①岡谷酸素太陽光発電所SUWACO Labo の資料・データ等のHP等での公開
- ②地域経済への効果研究中間報告（立命館大学 経済学部 ラウパッサ教授）
- ③発電状態の連続計測データ分析報告（日本大学理工学部 西川教授）

4. 自然エネルギー普及モデル構築のための調査検討・連携

地域協議会等の協力を得て、以下の各事業の説明会実施・告知など事業展開を支援し、事業ノウハウの共有化を図った。

- ①一般社団法人自然エネルギー信州パートナーズによる長野市鬼無里地区での太陽光発電事業の説明会ならびに鬼無里薪ステーション等の視察対応など
- ②一般社団法人NECOによる、市民発電事業支援の説明会後援、告知など
- ③おひさまエネルギーファンド株式会社による「信濃の国おひさまファンド」の募集告知

5. 「岡谷酸素太陽光発電SUWACO Labo」還元金活用事業

還元金活用事業（事業期間：平成26年10月1日～平成27年3月31日）の一環として12月24日に第1回事業成果報告会を諏訪市RACO華乃井ホテルにて岡谷酸素(株)と共同開催。日本大学理工学部電気工学科西川教授による発電計測データ分析報告およびSUWACO Laboの年間発電量と収支報告を行った。

また、同日に発電所現地見学会を実施し、太陽光パネルへの積雪・落雪状態を確認するなど、メガソーラー運営におけるノウハウを参加会員と共有した。

5. その他、本会の目的を達成するために必要な活動

- 運営会議を平成26年5月17日に開催した。
- 定時総会を平成26年6月12日に開催した。
- 役員・部会長・地域協議会代表者懇談会を平成27年2月4日、2月25日、3月10日に開催し、信州ネットの課題と再構築について意見交換を行った。

以上

(参考) 会員動向

会員区分	H26年3月末現在	H27年3月末現在	増・減	
正会員（企業・営利団体）	49	52	増3、減0	
正会員（NPO、市民団体）	29	30	増1、減0	
正会員（個人）	48	47	増0、減1	退会1
準会員	44	38	増0、減6	退会4、情報へ移行 2
情報会員	158	163	増5、減0	
行政会員	2	21	増19、減0	
賛助会員	0	0	増0、減0	
合計	330	351	増21、減0	

○参加行政会員（平成27年3月末現在）

軽井沢町、長和町、諏訪市、茅野市、伊那市、駒ヶ根市、松川町、高森町、阿智村、泰阜村、南木曾町、木曾町、安曇野市、大町市、長野市、須坂市、千曲市、坂城町、信濃町、野沢温泉村、長野県

○地域協議会との連携状況

ネットワーク型10協議会、特定事業型8協議会（平成27年3月末現在）

※地域協議会は、特定の活動範囲の地域における自然エネルギーの普及に関する自主的な活動を行う団体で、本会の事業に連携できる組織で、地域協議会の設立および本会への登録は、随時可能である。

○自然エネルギー信州ネットと連携している地域協議会（平成27年3月末現在）

<ネットワーク型>

- ・自然エネルギー長野北信地域協議会
- ・自然エネルギーネットまつもと
- ・木祖村自然エネルギー協議会
- ・自然エネルギー木曾地域協議会
- ・自然エネルギー信州ネットSUWA
- ・上伊那自然エネルギー普及協議会
- ・自然エネルギー東御地域協議会
- ・自然エネルギー上小ネット
- ・自然エネルギー佐久地域協議会
- ・南信州自然エネルギー普及協議会

<特定事業型>

- ・長野市自然エネルギー普及協議会（ペレットストーブ）
- ・iitoki トランジション長野地域協議会
（薪ボイラー、薪ステーション）
- ・ゆーふる木崎湖エコアップ協議会（小水力発電など）
- ・木島平村小水力発電協議会（小水力発電）
- ・太陽エネルギー推進協議会（太陽光発電）
- ・自然エネルギー市民参加型モデル研究協議会
（太陽光発電）
- ・自然エネルギー茅野地域協議会（メガソーラー）
- ・茅野市環境未来都市研究会（メガソーラー、小水力）

平成26年度 信州ネット、地域協議会、会員等の主な活動実績

作成：自然エネルギー信州ネット事務局

資料1-2

	信州ネット		地域協議会	部会・行政会員等
		おひさまBUN SUNメガソーラープロジェクト		
4月	全国小水力発電サミット第3回運営委員会		NPO法人いいだ自然エネルギーネット「第5回の南信州フォーラム」	グリーン熱部会「信濃町地中熱利用の講演会」
5月	信州ネット 運営会議	立命館大学ラウパッハ教授訪問調査およびミーティング		太陽光部会「佐久メガソーラー見学会」
	信州ネット 佐久地域連絡会			
	全国小水力発電サミット実行委員会 「第1回 NECO公開講座」後援			
6月	信州ネット 定時総会		自然エネルギーネットまつもと/NECO共催 公開講座	
7月	地域連絡会(諏訪市)	ミニ公開講座 立命館大学ラウパッハ教授	信州ネットSUWA 平成26年度総会・講演会	環境エネルギー課「自然エネルギー事業におけるコンプライアンス等に関するセミナー」
	全国小水力発電サミット第4回運営委員会 小水力サミット印刷物制作進行(ポスター・申込書等)	おひさまBUNSUNメガソーラー会合	自然エネルギー上小ネット 情報交流会	
8月	「信州環境フェア2014」環境エネルギー課と共同出展	おひさまBUNSUN会合		県農政部「農産漁村再生可能エネルギー法に関する説明会」
	「全国風穴小屋サミット」後援			県環境エネルギー課「第1回地下水・地下熱資源強化活用シンポジウム」
	「信州コロキウム 地域の資源・エネルギーを活かす」後援			
9月	全国小水力発電サミット第5回運営委員会	県、岡谷酸素、信州ネット3者によるおひさまBUNSUN協定に係る契約書の打合せ	南信州自然エネルギー普及協議会「パワー・トゥー・ザ・ピープル上映会」	
	「諏訪湖ふれあいまつり2014」後援		自然エネルギー長野北信地域協議会/NECO共催 公開講座	
			自然エネルギー上小ネット 情報交流会	
10月	地域連絡会(木曾町)※中止 「自然エネルギーフェア」後援 ※中止		自然エネルギー木曾地域協議会「自然エネルギーフェア」※中止	和建築設計事務所「超断熱サッシ シンポジウム」
	全国小水力発電サミット第6回運営委員会		自然エネルギー信州ネットSUWA「諏訪圏工業メッセ」	企業組合協ながの「地域そうぞうフェスティバル」
	小水力サミット印刷物制作進行(大会資料集)			バイオマス部会 佐久イオンモールストーブ展 出展
		ハケ岳まるごと収穫祭 薪ストーブ、薪ポイラー展示		
	おひさま進歩エネルギー/NECO共催 公開講座 (南信州自然エネルギー普及協議会/信州ネット 後援)		おひさま進歩エネルギー/NECO共催 公開講座 (南信州自然エネルギー普及協議会/信州ネット 後援)	
11月	小水力サミット登壇者発表資料調整		上伊那地域自然エネルギー普及協議会「伊那谷木質バイオマスエネルギーシンポジウム」	NPOまめつてえ鬼無里「ながの環境パートナーシップ会議公開講座」
	「全国小水力発電サミット」当日大会運営		自然エネルギー長野北信地域協議会 /長野市自然エネルギー普及協議会共催「ベレットストーブ見学会」	
	「まちエネ大学 プレイバント」運営協力		自然エネルギー上小ネット 情報交流会	
	「まちエネ大学 第1回」運営協力			
	全国小水力発電サミット第7回運営委員会			
12月	「まちエネ大学 第2回」運営協力	第1回事業成果発表会	南信州自然エネルギー普及協議会 岐阜県恵那市「木の駅プロジェクト」視察	
	シンポジウム「里山の恵みを受け継ごう！」協力			
1月	「まちエネ大学 第3回」運営協力			
2月	「まちエネ大学 第4回」運営協力 宮城県庁からの視察(長野市鬼無里地区) 第1回、第2回 役員・部会長・地域協議会代表者懇談会		自然エネルギー上小ネット 情報交流会	
3月	第3回 役員・部会長・地域協議会代表者懇談会 ホームページリニューアル公開		エネットまつもと 自然エネルギー講座「自然エネルギーの今」	

第 2 号議案

平成 26 年度自然エネルギー信州ネット 収支決算報告

(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

収入決算額 5,904,716 円

支出決算額 3,949,725 円

差引残高 1,954,991 円

収入の部

(単位：円)

科 目	予算額(a)	決算額(b)	増 減 (a-b)	備 考
会費	1,000,000	914,000	86,000	正会員企業 43 会員 430,000 正会員 NPO 市民団体個人 68 会員 408,000 準会員 24 会員 72,000 郵便 4 会員 4,000
補助金	0	0	0	
寄付金	50,000	0	50,000	
イベント協賛金	0	0	0	
受託事業収入	0	2,250,000	△2,250,000	・岡谷酸素 SUWACO Labo 還元金活用事業 ・まちエネ大学長野スクール運営支援事業
販売収入	0	0	0	
雑収入	0	243,883	△232,276	トナー代・手数料 222,469 円 消費税還付金 21,414 円
利息	0	340	△340	
前期繰越金	2,496,493	2,496,493	0	
合計	3,546,493	5,904,716	△2,346,616	

支出の部

(単位：円)

科 目	予算額(a)	決算額(b)	増 減 (a-b)	備 考
人件費・諸謝金	400,000	20,000	380,000	SUWACO Labo 成果発表会講師謝礼
旅費・交通費	100,000	73,546	26,454	理事会、運営会議の役員交通費 視察、打合せ等交通費
借損料・役務費	480,000	2,482,237	△2,002,237	・事務局運営委託費 43,200×12ヶ月 ・岡谷酸素 SUWACO Labo 還元金活用事業委託費 ・まちエネ大学運営支援事業委託費等
リース料・家賃	300,000	692,077	△392,077	プリンターリース (トナー含む) 445,237 円 事務所家賃 20,570×12ヶ月 246,840 円
会場費	30,000	117,125	△87,125	SUWACO Labo 成果発表会会場費等
消耗品費	60,000	14,223	45,777	事務用品等
印刷製本費	30,000	55,770	△25,770	会議資料、チラシ、報告書等
通信運搬費	150,000	216,174	△66,174	電話、インターネット、サーバー使用料 郵便、宅配便等
会議費	10,000	8,585	1,415	お茶代等
雑費・諸経費	5,000	21,788	△16,788	支払い手数料、灯油代等
租税公課	71,000	75,400	△4,400	印紙代 4,400 円 法人市県民税 71,000 円
専門部会活動費	210,000	0	210,000	
税理士報酬	172,800	172,800	0	平成 25 年度決算書作成分
合 計	2,018,800	3,949,725	△1,930,925	

※岡谷酸素 SUWACO Labo 事業収入 2,000,000 円 支出 2,000,000 円

支出内訳 直接人件費 1,050,000 円 事業費実費 510,000 円 諸経費 291,851 円 消費税 148,149 円

※まちエネ大学長野スクール 事業収入 250,000 円 支出 222,000 円

支出内訳 交通費 12,000 円 業務委託費 210,000 円 (消費税込み)

※H26 年度信州パートナーズへの委託費 2,407,237 円

月額 43,200 円×12ヶ月=518,400 円+1,688,837 円 (SUWACO Labo) +200,000 円 (まちエネ大学)

■公益事業収入 0.336			■収益事業収入 0.664			(合計)
項目	金額	備考	項目	金額	備考	
会費	914,000	正会員企業 ¥10,000×43 正会員NPO・個人 ¥ 6,000×68 準会員 ¥3,000×24 郵便 ¥1,000×4	岡谷酸素SUWACOLabo 還元金活用事業受託	2,000,000	消費税込み	3,408,223
寄付金	0		まちエネ大学運営受託	250,000	消費税込み	
雑収入	222,469	信州パートナーズからプリンターナー代 219,240円 信州パートナーズから手数料立替分 3,229円	雑収入	0		
利息	340		消費税還付金	21,414		
当期収入合計額	1,136,809		当期収入合計額	2,271,414		

■公益事業支出			■収益事業支出 税込			(合計)
項目	金額	備考	項目	金額	備考	
人件費・諸謝金	0		人件費・諸謝金	20,000	<SUWACO Labo> 西川先生謝礼 20,000円	20,000
旅費・交通費	18,810	運営会議の理事交通費 部会参加、打合せ等のスタッフ交通費	旅費・交通費	54,736	<SUWACO Labo> 講師、スタッフ交通費 42,736円 <まちエネ大学> 駐車場代 12,000円	73,546
借損料・役員費	518,400	一社)自然エネルギー信州パートナーズ 事務局業務委託費43,200×12ヶ月	借損料・役員費	1,963,837	<SUWACO Labo> パートナーズ委託費 1,688,837円 薪ボイラー運搬委託費 65,000円 <まちエネ大学> 田村さん委託費 10,000円 パートナーズ委託費 200,000円	2,482,237
リース料・家賃(按分)	378,113	プリンターリース代(按分) 225,997円×0.336=75,935円 家賃(按分) 246,840円×0.336=82,938円 プリンターナー代(パートナーズ請求分) 219,240円	リース料・家賃(按分)	313,964	プリンターリース代(按分) 225,997円×0.664=150,062円 家賃(按分) 246,840円×0.664=163,902円	692,077
会場費	0		会場費	117,125	<SUWACO Labo> 会場使用料、イベント出展料 117,125円	117,125
消耗品費	14,223		消耗品費	0		14,223
印刷製本費	0		印刷製本費	55,770	<SUWACO Labo> イベント、成果発表会告知チラシ 55,770円	55,770
通信運搬費 (郵便代以外按分)	77,764	郵便代 7,725円 電話、サーバー、ネット回線 208,449円×0.336	通信運搬費	138,410	電話、サーバー、ネット回線 208,449円×0.664	216,174
会議費	105		会議費	8,480	<SUWACO Labo> お茶代等 8,480円	8,585
雑費	19,736	灯油代、支払手数料等	雑費	2,052	<SUWACO Labo> 振込手数料 2,052円	21,788
租税公課	4,400	印紙代	租税公課	71,000	法人市県民税	75,400
専門部会活動費	0					0
税理士報酬	58,061	平成25年度分 172,800円×0.336	税理士報酬	114,739	平成25年度分 172,800円×0.664	172,800
当期支出合計額	1,089,612		当期支出合計額	2,860,113		3,949,725
当期収支差額	47,197		当期収支差額	△ 588,699		

※公益事業、収益事業の共通経費(プリンターリース、家賃、通信費)については、事業収入の比率で按分した。(公益事業:収益事業=0.336:0.664)

平成 26 年度 監査報告書

平成 26 年度における会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告いたします。

1. 自然エネルギー信州ネットの規約により監査した結果、自然エネルギー信州ネットの会計収支計算書は、会計帳簿の記載金額と一致し、本団体の収支の状況を正しく示していると認めます。

平成 27 年 5 月 16 日

監 事

高木 直樹

印

※個人情報を保護するため、署名、押印された監査報告書は事務局にて保管しています。

第 3 号議案

自然エネルギー信州ネット 平成 27 年度事業計画 (案)

長野県内において、地域資源を活用した地域協働による自然エネルギーの普及及び自然エネルギーを活用した持続可能な地域づくりに向けて、下記の活動をすすめる。

本年度は役員改選の年であり、設立 5 年目という節目を迎えることから「信州ネットの第 2 ステージ」と位置づけて、6 月 27 日に開催する「パワーアップミーティング」を皮切りに、組織のあり方や運営体制の再編成に取り組む。

また、平成 26 年度からスタートした「岡谷酸素太陽光発電所 SUWACO Labo 還元金活用事業」においては、当事業で得られた情報分析と情報発信、ならびに県下全域への自然エネルギー普及を目的とした活動を展開する。

尚、本会の事務局機能は、信州ネットの事業部門を担う一般社団法人自然エネルギー信州パートナーズに引き続き委託する。

1. 県内の自然エネルギーに関連する団体・企業・個人との対話促進と普及啓発活動

(1) 地域協議会の設立支援

地域協議会設立を準備している地域における学習会開催など、設立支援を行う。

(2) 地域協議会の運営支援

地域からの希望に基づき、その自主的な運営を支援する。

(3) 専門部会の運営

全県または地域での活動を支援する専門部会を運営する。

- ・太陽光部会、バイオマス部会、小水力部会、グリーン熱部会、
政策調査部会、ファイナンス部会、マネジメント部会

(4) 交流ネットワークの場づくり

各地域協議会と連携し、信州ネット会員、行政、県内企業・関連団体が集まって、事例共有、情報交換、人脈づくり等につながる交流ネットワークの場を年 3 回程度開催する。場づくりの企画・運営については、信州ネット会員を主体とした実行委員会を設け、会員による主体的な実施とする。

(5) 行政との連携

平成 26 年度は、長野県環境エネルギー課と協力して、77 市町村に対し信州ネットへの参加を呼びかけ、21 市町村からの入会があった。本年度も行政との連携強化を図るため、引き続き未加入市町村への入会の働きかけを行う。

(6) メール等による会員（団体・企業・個人）への情報発信

毎月のメールニュース発信をはじめ、自然エネルギーに関連する情報についてメールを活用した情報発信を実施する。

2. 会員、地域協議会、行政の協働による県民への普及啓発活動

(1) 情報発信ツールの活用と運営

ホームページやブログを活用した情報発信を行う。

平成 26 年度に改訂したホームページは、「管理者」「編集者」「投稿者」の設定ができるため、各地域協議会、行政、部会からの投稿も可能である。情報発信力を高め、かつ会員の主体的な参加ツールとして活用する。

(2) 各種イベントや講演会などの実施ならびに参加、協力

県民が広く参加できる普及啓発イベント、セミナーなどを主催（共催・協力）する。また、自然エネルギー普及につながる各種イベントや講演会に出展、参加する。

(3) 他団体と連携した広報活動ならびに運営支援

本年度は、10 月に「長野県地中熱利用促進協議会」主催による『地中熱活用サミット（仮）』の開催が予定されている。また、11 月に「海外林業技術等導入促進協議会」主催によるオーストリアの林業ならびに木質バイオマス利用システムのノウハウを共有セミナー開催が予定されており、信州ネットは広報面、運営面で協力する。

(4) 「1 村 1 自然エネルギー」への登録呼びかけ

本会会員ならびに関係者に対し、長野県が取組む「1 村 1 自然エネルギープロジェクト」の趣旨説明と、登録の呼びかけを行う。

3. 自然エネルギー普及に向けた政策手法の検討・提言・協力

(1) 地域協議会と連携しながら、政策調査部会等において自然エネルギーを普及させるための政策を検討するとともに、関係機関への提言を行う。

(2) 「おひさま BUN SUN メガソーラープロジェクト」において、長野県、岡谷酸素(株)、本会との三者協定に基づき、当プロジェクトで得られた知見の分析、公開等を通じて、長野県内における自然エネルギー普及に積極的に協力する。

4. 自然エネルギー普及モデル構築のための調査検討・連携

全県または地域で実用化が期待できる事業モデルについて研究・検討・連携する。

5. その他、本会の目的を達成するために必要な活動

○定時総会のほか、必要に応じ臨時総会を開催する。

○6 月 27 日（土）に、信州ネット活性化に向けたパワーアップミーティングを開催する。

○理事懇談会ならびに運営会議を 3～4 回程度開催する。

○本会会員の募集を継続的に行う。

平成27年度 自然エネルギー信州ネット 収支予算計画(案)

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

【収入の部】

会費収入		1,000,000
寄付金収入		0
事業収入	SUWACO Labo還元金活用事業	2,000,000
雑収入		0
前期繰越金		1,954,991
当期収入合計		4,954,991

【支出の部】

事業費		2,000,000
人件費・諸謝金		100,000
旅費・交通費		100,000
借損料・役務費	業務委託費	520,000
リース料・家賃	プリンター、事務所家賃	400,000
会場費		50,000
消耗品費		30,000
印刷・製本		50,000
通信運搬費		200,000
会議費		10,000
雑費		20,000
租税公課		75,000
専門部会活動費	1部会30,000円×7部会	210,000
予備費		1,189,991
当期支出合計		4,954,991

自然エネルギー信州ネット 役員名簿

2015/06/27 総会資料

役職名	H24 定期総会	H25 定期総会	地域	所属地域協議会
理事・会長	茅野 實	茅野 實	—	
広域ネットワーク型地域協議会会長（代表）等				
理事・議長	平島 安人	平島 安人	松本	自然エネルギーネットまつもと（代表）
理事	井出 進	加藤三喜夫	佐久	自然エネルギー佐久地域協議会（会長）
理事	沖野 外輝夫	沖野 外輝夫	諏訪	自然エネルギー信州ネット SUWA（運営委員長）
理事	傘木 宏夫	—	大北	
理事	原 亮弘	原 亮弘	下伊那	南信州自然エネルギー普及協議会（共同代表）
理事	—	末広 繁和	上小	自然エネルギー上小ネット（会長）
理事	—	松井 淳一	木曾	自然エネルギー木曾地域協議会（会長）
理事	葦木 美咲	葦木 美咲	—	自然エネルギー信州ネット SUWA（副運営委員長）
理事	月岡 通孝	田村 恵子	—	自然エネルギーネットまつもと（副代表）
広域ネットワーク型地域協議会会長の指名する代理				
理事	寺澤 茂通	寺澤 茂通	上伊那	上伊那地域自然エネルギー普及協議会（事務局長）
理事	—	宮入 賢一郎	長野・北信	自然エネルギー長野北信地域協議会（事務局長）
監事	高木 直樹	高木 直樹	—	信州大学工学部教授
監事	—	候補者人選中		

自然エネルギー信州ネット 役員改選の進め方（案）

2015/06/27 総会資料

6/27
パワーアップミーティング&懇親会

「信州の未来」について討議
裾野の拡大、新たな人材の発掘

7月8日
実行委員会&信州ネット理事 合同会議
(実行委員会は解散)

パワーアップミーティングの結果報告
(現理事との共有化)
信州ネット第2ステージの目指すもの
そのための運営体制の決め方について
実行委員会から現理事に提案、協議

8月1日
パワーアップミーティング フェーズ2
新たな理事候補も交えて、
今後の信州ネットの方針と運営体制について

「信州ネットの未来について」
新たな理事候補も交えて、今後の信州ネット
の目指す姿と運営体制について数回協議。
1回目はオープンな集まりとする。
→方針と運営体制案の作成

9月
パワーアップミーティング フェーズ2
&信州ネット理事 合同会議

信州ネット第2ステージの方針と
新たな運営体制案のすり合わせ、合意

10月
信州ネット臨時総会

臨時総会での議決を経て、新たな理事体制を承認
していただく

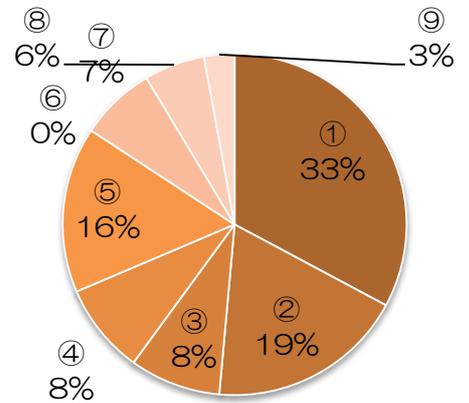


自然エネルギー信州ネット・地域協議会 会員アンケート 集計結果（一部をのぞく）

1. 信州ネットの会員になられたのはいつですか？

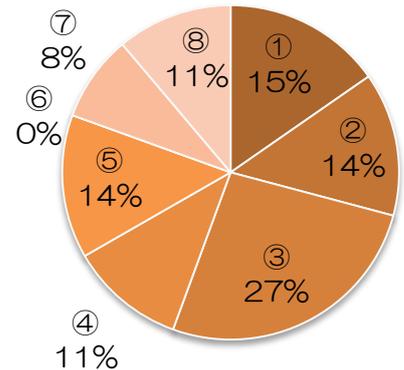
設立準備段階からの方は、関わり始められた時期をお知らせください

① 設立時（2011年7月）から	23
② 2011年8月～2012年3月	13
③ 2012年4月～2013年3月	6
④ 2013年4月～2014年3月	6
⑤ 2014年4月～2015年3月	11
⑥ 2015年4月以降	0
⑦ 設立準備段階から	5
⑧ 不明	4
⑨ 会員ではない	2



2. 信州ネットでの会員種別をお知らせください

① 正会員 団体（企業、営利団体等）	11
② 正会員 団体（NPO、市民団体）	10
③ 正会員 個人	19
④ 準会員 個人	8
⑤ 情報会員 団体・個人	10
⑥ 賛助会員 団体・個人	0
⑦ 行政会員（行政機関）	6
⑧ 地域協議会の会員	8



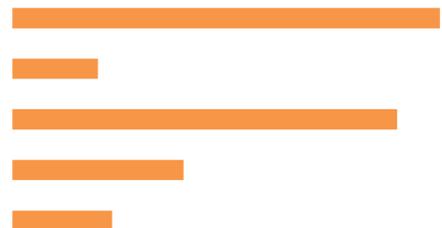
3. 地域協議会に参加されていますか？

① 参加している	43
② 参加していない	27



4. 地域協議会の良いところを教えてください（複数回答可）

① 知識が増える	30
② 事業ができる	6
③ 仲間が出来る	27
④ 活動基盤がある	12
⑤ その他（ ）	7



5. なぜ地域協議会に参加されていないのか教えてください（複数回答可）

① 必要ない	0	
② 地域協議会を知らなかった	9	
③ かけもちは大変	2	
④ 参加したがやめた	2	
⑤ その他（ ）	15	

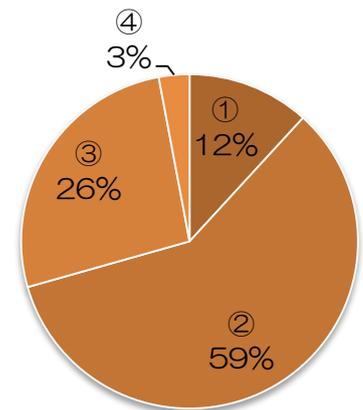
6. 信州ネットの良いところを教えてください（複数回答可）

① 知識が増える	37	
② 事業ができる	3	
③ 仲間ができる	28	
④ 相談ができる	12	
⑤ 情報が届く	54	
⑥ 他団体・行政との連携	22	
⑦ 仕事が増える	1	
⑧ その他（ ）	5	

7. 信州ネットに参加しているメリット感はありますか

① とてもある	8
② そこそこある	40
③ あまり感じない	18
④ 全くない	2

※100点満点にすると 平均 61 点



8. 信州ネットの運営や活動に時間を割いていただくことは可能ですか？

① 年に数回可能	20	
② 月に数回可能	4	
③ 月に1回ぐらい可能	13	
④ 週に数回可能	2	
⑤ 週に1回ぐらい可能	2	
⑥ 1日1時間なら可能	2	
⑦ 不定期で関わりたい	12	
⑧ その他（ ）	7	

9. 信州ネットでご自身ができることを教えてください

① 知識・情報の提供	32	
② 技術支援	14	
③ 起業支援	3	
④ 事業化支援	9	
⑤ 広報（広報誌・パンフレット）	4	
⑥ Web（HP 管理・メール配信）	4	
⑦ 相談コーディネート	7	
⑧ その他（ ）	10	

10. 信州ネットを活用して、実現してみたい具体的な案（企画・運営も含めて）がありましたら、何でも自由にお書きください

別紙①

11. 信州ネットとの連携に相応しい、人・団体・企業などをご紹介ください

12. 基本情報（記入は任意）

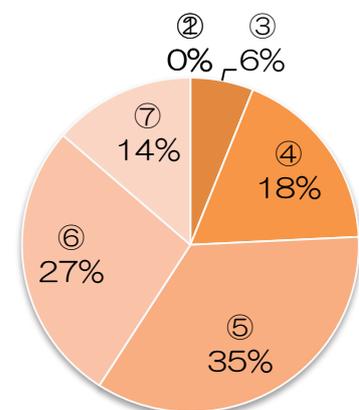
①お住まいの地域（地方事務所名）

① 佐久	4
② 上小	8
③ 諏訪	8
④ 上伊那	6
⑤ 下伊那	2
⑥ 木曾	2
⑦ 松本	15
⑧ 北安曇	1
⑨ 長野	21
⑩ 北信	3
⑪ その他（	



②年代

① 10代	0
② 20代	0
③ 30代	4
④ 40代	12
⑤ 50代	23
⑥ 60代	18
⑦ 70代以上	9



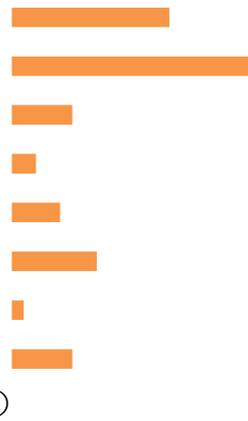
③性別

- ① 男性 54
- ② 女性 12



④職業

- ① 会社員 13
- ② 会社役員 20
- ③ 自営業 5
- ④ パート・アルバイト 2
- ⑤ 研究者 4
- ⑥ 公務員 7
- ⑦ フリーランス 1
- ⑧ 学生 5
- ⑨ その他 ()



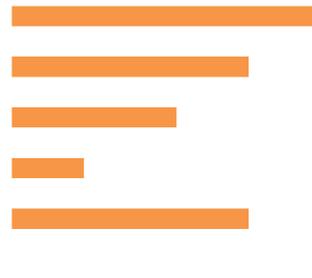
⑤関心のある自然エネルギー（複数回答可）

- ① 太陽光 39
- ② 太陽熱 29
- ③ 小水力 41
- ④ 中水力 6
- ⑤ 風力 8
- ⑥ 地中 13
- ⑦ 地熱 10
- ⑧ 木質バイオマス 38
- ⑨ 省エネ 32
- ⑩ 住宅改修 16
- ⑪ エコ住宅 18
- ⑫ その他 ()



⑥現在自然エネルギーに関して、実行している活動がありますか（複数回答可）

- ① 普及啓蒙 30
- ② 事業 23
- ③ 個人利用 16
- ④ ネットワークづくり 7
- ⑤ 省エネ 23
- 具体的に ()



別紙① 問10. 信州ネットを活用した具体的な案

- 長野県下の自然エネルギー需給マップ（現状・潜在力）の作成
- 県下に点在する下水処理場を核としたエネルギー…防災パーク構想の作成
- 自然エネルギー以外の分野との交流、コラボ企画
- 他県との交流企画（他県の取組みの成功例・失敗例、悩み等の交換はとても刺激になると想像します）
- 国の支援もありますから異業種とのイノベーション創業やイノベーションネットワークをつくり、の事業化することができると良いかと思います。また、近隣県との取組みも必要かと思います。
- 弊社が現在取り組んでいる内容です
 - 小水力発電の普及・事業化活動
 - 省エネコンサルタント活動
 - 省エネ笑いエコで地域に、小学校、中学校、高校生などに講演会
- 参画できることに夢を膨らましていたが、参加可能の機会は一度もなかった。ICTを活用した運営と地産地消への本質な理解を期待する。
- 現在、川中島地域住民自治協議会の環境部会では、小水力、太陽光、バイオマスなどの自然エネルギーに関する住民の意識高揚を目的とする活動を企画しようとしています。しかし、該組織には企画検討するにも人材や情報などの活動リソースが不足しています。そこで、信州ネットが保有する活動リソースとのパイプ役として該組織を支援したい。
- 太陽光発電は急速に広がり、各地域でさまざまに事業者により実施されたが、FITによる事業収益性を目的による参画が多く、一過性の様子が伺える。普及啓発や環境教育につながるような施策が必要と思います。また、他の再生可能エネルギーの広がりが低く、特に中小水力、バイオマスなど信州の地を活かしたエネルギーの普及を実績が必要と思う。
- 地熱発電、技術情報
- 「長野県自然エネルギーサミット」県民に、長野県内の自然エネルギーの取り組みなどを紹介し、当事者の方々に講演をいただく。身近な取り組みを知ることで自然エネルギーに親しみを感じてもらう。まずは、信州博でのパネル展示、講演をしたらいかがでしょうか？
- 林業と林業バイオマス（薪、チップ、ペレット、熱と発電）地域で自然エネルギー事業を行うことによる地域への経済波及効果の調査分析。乗数効果などの産業連関分析。
- 理論的、実務的、両方の知識の共有化
- 自然エネルギー長野北信地域協議会の事業にて、長野市内を会場とした講演会、勉強会などを企画する際に、自然エネルギー信州ネットも共催等で関わってもらい、信州ネット会員の参加も呼びかけながら、成果を共有していくことでの協力が可能と考えられます。
- 地域の循環型社会化に向けて
- 小中学校に環境教育の一環として太陽光を設置しようとする活動のほか、地域内に太陽光、バイオマスを中心とした再生エネルギーを設置普及させる活動を計画中。現在、資金の捻出を中心とした課題があり、その具体的手立ても信州ネット・地域協議会から常に教えてもらえる環境を望む。

- 家庭への自然エネルギー導入を促進する「普及啓蒙活動」に関して、各地域協議会が地元の実情に即した広報、設置者と導入検討者との仲介、相談に応じる体制づくり②自然エネルギーの供給能力平準化事業の検討昼夜逆揚水ダム蓄電や家庭用エネルギー蓄電池の普及③太陽光発電と農作物栽培の共存事業推進
- FITに替わるような、再エネを推進する地域ルールの提唱。民間企業がやれるような発電事業をやる必要はないと考える。信州ネットは、行政と民間との間を取り持つような「仕組みづくり」が重要だと思う。
- 当初は期待していたが、事業の中心が北信に偏重しているキライがあり最近ではほとんど期待していない。地域協議会での活動で手一杯であり、残念ながら信州ネット全体を見渡す余裕はない。ネットとしては、地域協議会同士の交流会や、各地域協議会への出張等が考えられるが、自分が参加できるかは判らない。人間は飽きる生き物なので、飽きて興味を失う人がいても不思議ではない。形にとらわれず新しい参加者を増やすことが重要と考えます。
- 共同購入による資材／設置価格の引き下げ
- それぞれの地域協議会での課題、問題点などの中で、全県下の、国政的な解決策が必要な場合、それらの内容を統合する仕組みが必要だと思います。これは政治的な行動になるのですが、このような動きは市民運動のなかで必ず解決していかなければならない課題です。信州ネットはそのような機能を果たすためにあってもよいのではないのでしょうか。
- 東京ビッグサイトで開催されている太陽光発電システム施工展などの情報提供やツアーの企画など、企業側もユーザー側もメリットがあるような企画を実施してほしい。（信州ネットはどちらかと言うと企業や官公庁側に軸足があるような気がする。今後は自然エネルギーに対する熱が冷めてくると思われ、企業や官公庁もフェードアウトしていくのではないだろうか？。その時、信州ネットを支えるのは一般の個人になるが、現状では会員の確保は難しいような気がする。私も、個人会員で25KWの発電設備を保有しているが、固定資産や経産省への年報などにとっても苦労している。税理士法で税金関係の情報は信州ネットからは出せないが、税理士を招いてセミナーを開催し、会員は無料、非会員は有料、その場で会員になれば無料などの企画を実施し会員数を増やす努力も必要ではないだろうか。会員には地方自治体からも参加されているようなので、会場は市役所などを利用し、説明員に税務課職員をお願いすれば費用も少なく自治体の納税にも協力できるような気がする。※言いたいことを言ってすみません。別に苦情とかではなく信州ネットに少しでも愛着があったので・・・お気に障るようでしたら削除ください。）
- 地域にあるものを生かす暮らしのすばらしさの普及です。
- 紙、薪の販売
- 部会の会議に理事が全く参加していない今まで事務局次長が会議を進めている会長、事務局長が進めるべきだと思います。部会の様子が理事に伝わらない。部会長を理事に任命すべきだと思います。以前否決され、その後そのままです。部会長が遠方での会議にした場合旅費を支給してやってください。（会費がある）
- 信州ネットの活動自体に参加できていない状況なので、もう少し関わられるようにしたいと思います。
- 今のままの体制ではあまり期待できない

- 用水路を活用した小水力発電の事業化
- 小水力発電事業の普及活動、および設置
- 人材育成事業 人材バンク（専門家などの紹介、相談） 市町村をまたいだ広域事業のコーディネート（流域、山林などの事業）
- 信州パートナーズの活動がうまく回るようなサポートができれば良いと考えます。具体的には、添付ファイルのようなことを実現してみたいです。
- 小水力発電を試みようとしてしましたが、地元との話が進まず、取り組み初期の段階で頓挫した状態のままです。何か糸口がつかめれば進めたいと思っていますが。
- 新しい企画（自然・・・水、空気、植物）などを活用した自然エネルギーの実例や、新たな企画、また広報活動等ができれば良いと思います。特に信州に適した小水力発電にその思いを強く持っています。
- 行政（特に長野県）と組んでの具体的な施策展開
- 地域協議会どうしが連携する仕組み作り。会員が自由に情報発信、交流できる場づくり
- 信州は山があり谷がありで恵まれた水が流れている数kw位発電できるネットが中心となって県・企業を動かし安価なタービン・発電機を作ったらよいと思います。
- 長野県各部局・企業局・農政部・林務部・建設部・市町村がバラバラで行っている自然エネルギー事業の立案時から信州ネット（パートナーズ）が有料（利益で運営資金を生み出す）事業（県内事業者に再委託）し地域でおかねを循環するシステム経営センス・営業力のある方を運営に加えるべき
- 信州ネットにある情報内容を簡単な映像にまとめる
- 諏訪において鴨池川エナジーパーク構想を作り、すでに動き始めています。現在、太陽光発電とペレットストーブの展示の準備を進めています。約 3000 m²の土地へ薪ストーブ、地熱などの展示ができる方を探しています。信州ネットで紹介していただきたいです。
- 一般社団法人自然エネルギー信州パートナーズを信州ネットの事業化部門として明確に位置づけ直し、公益性が求められる事業と採算性が求められる事業の両立を目指したい
- 情報の確認調査を行い発信したい。地域協議会にメンバーの発掘をし情報をいただき調査し発信したい。